

2018年3月期 第2四半期決算説明会 事業の状況について

2017年11月14日

 **株式会社アルファシステムズ**

代表取締役社長 黒田 憲一

2018年3月期 第2四半期の状況

systems

2018年3月期 第2四半期の状況

良好な国内IT市場に加え、緊急対応の案件受注による稼働増も発生、
開発要員の稼働率が高水準を維持、

百万円 (前年同期増減率)	売上高	受注高	営業利益	説明
全体	13,427 (4.6%)	13,946 (3.5%)	1,308 (44.8%)	上半期としては、売上高・受注高とも過去最高 営業利益率は9.7%
ソフトウェア開発	13,015 (3.3%)	13,664 (6.3%)	1,267※ (39.5%)	売上高は、前年同期より412百万円増加 受注高は、同 811百万円増加
プロダクト・サービス ("その他"事業)	411 (75.1%)	281 (▲55.0%)	43※ (+46百万円)	文教ソリューションは見込みどおりの進捗 (前期からの仕掛り案件による効果)

※は「セグメント利益」。別途調整額△2百万円あり。

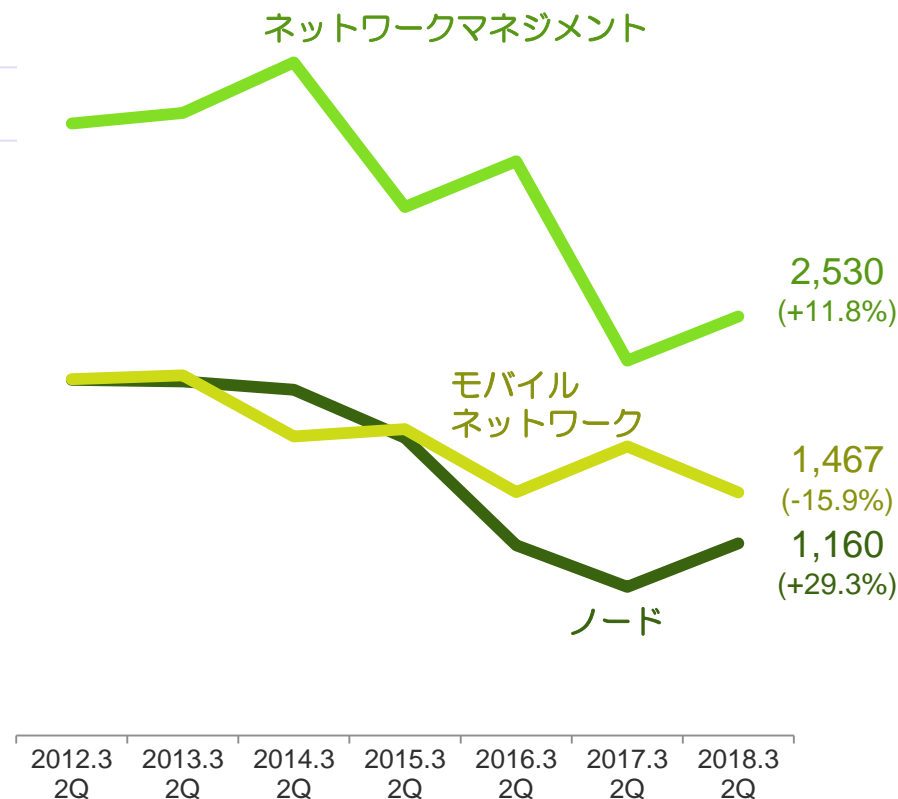
事業区分別の状況(通信システム)

“前期並み”の予想に反して、6期ぶりの増加

ノード	緊急対応案件の受注があり、予想に反して増加
モバイル	5G関連に目立った動きなく、減少
マネジメント	NGN関連の受注が伸長

(百万円)	2017.3 2Q	2018.3 2Q	増減額	増減率
通信システム	4,904	5,157	253	5.1%
ノード	897	1,160	263	29.3%
モバイルネットワーク	1,744	1,467	▲277	▲15.9%
ネットワークマネジメント	2,262	2,530	268	11.8%

通信システム売上高内訳(百万円)



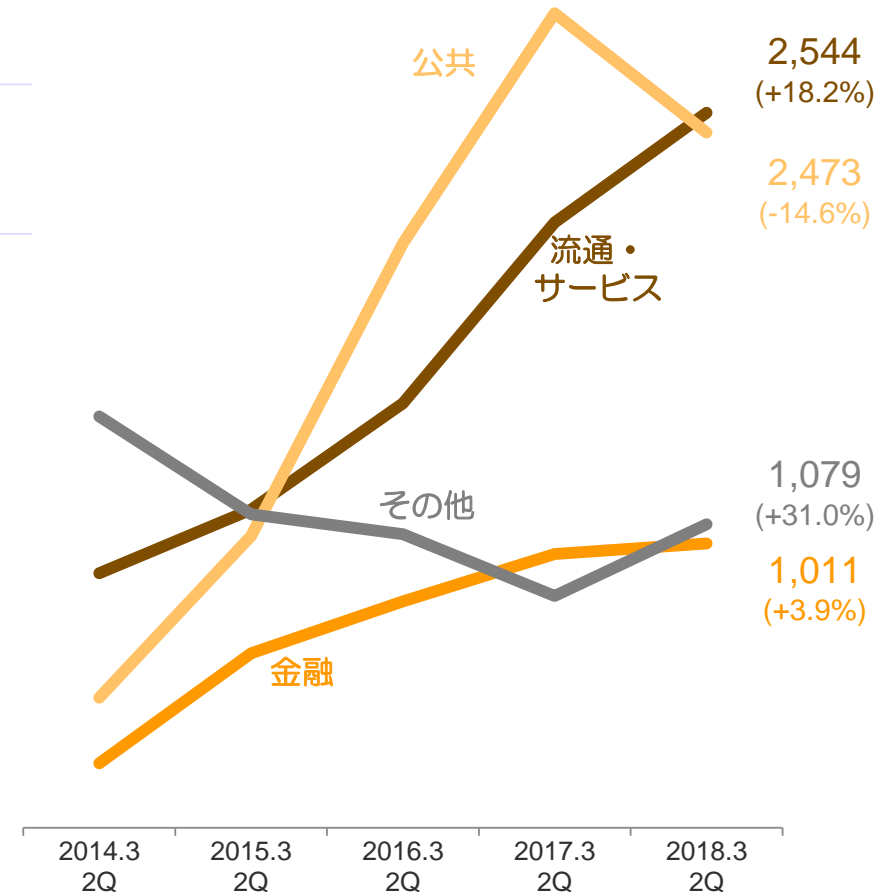
事業区分別の状況(オープンシステム)

「流通・サービス」拡大により、8期連続の増加

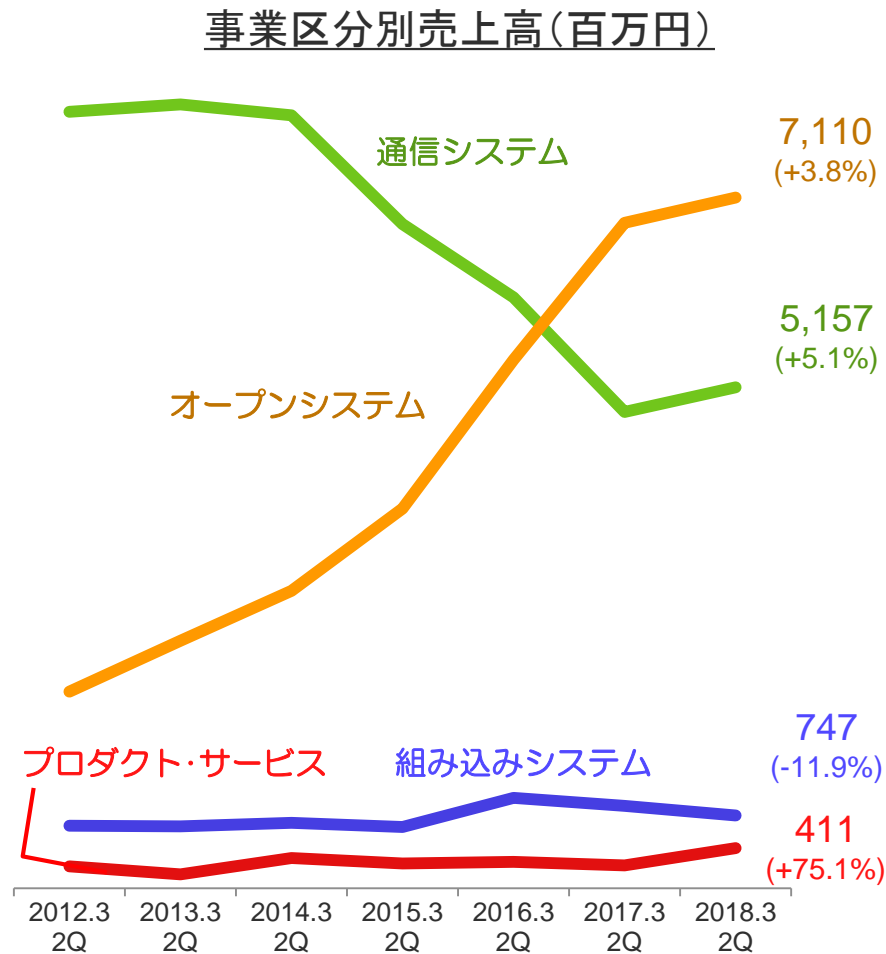
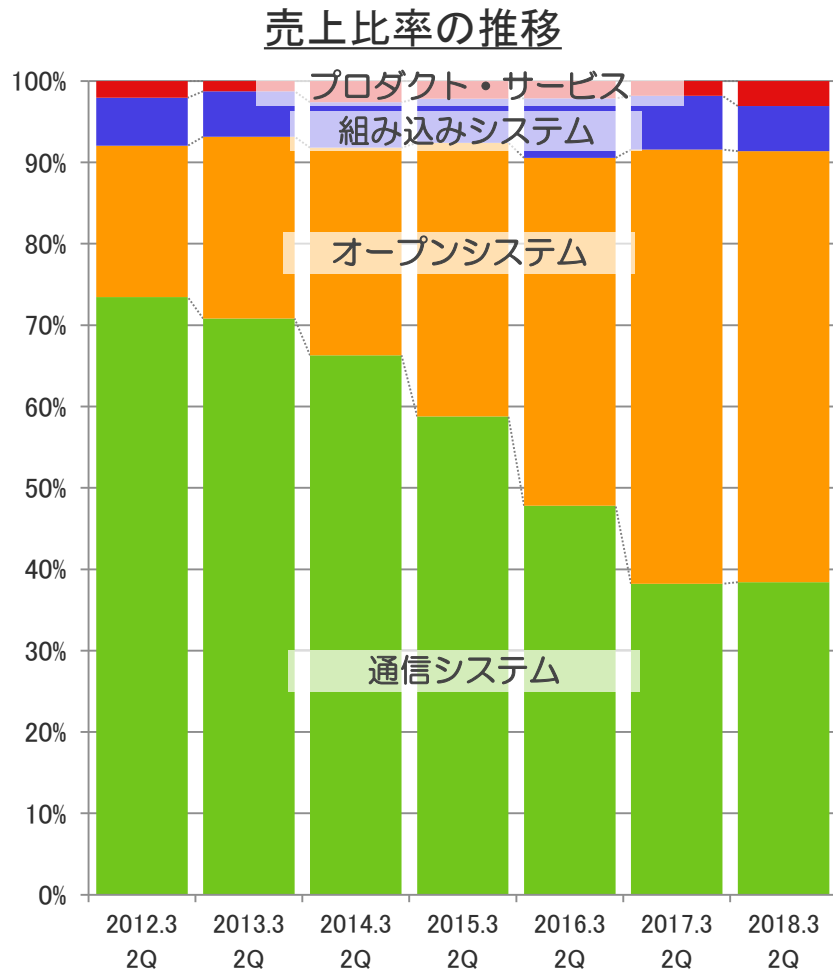
公共	エネルギー関連が減少
流通・サービス その他	Eコマース、ネットビジネス関連が増加

(百万円)	2017.3 2Q	2018.3 2Q	増減額	増減率
オープンシステム	6,849	7,110	261	3.8%
公共	2,897	2,473	▲424	▲14.6%
流通・サービス	2,153	2,544	391	18.2%
金融	974	1,011	37	3.9%
その他	824	1,079	255	31.0%

オープンシステム売上高内訳(百万円)



事業区分別の状況(売上高の推移)



オープンシステムは拡大継続

通信システムの減少が一服

事業環境と対応方針

systems

ソフトウェア開発事業

将来見通しは市場拡大傾向、徐々に具体化されつつある

種別	市場・分野	2016	2022	年平均成長率
ネットワーク	固定ブロードバンド	1兆8,548億円	1兆9,300億円	0.7%
	携帯電話回線	1億5,998万件	1億7,789万件	1.8%
決済	消費者向けEコマース	16.5兆円	26.0兆円	7.9%
	スマートペイメント	62.6兆円	90.7兆円	6.4%
ウェブサービス	インターネット広告	1兆0,116億円	1兆2,725億円	3.9%
	動画配信	1,696億円	2,188億円	4.3%
ソリューション	クラウドサービス	6,398億円	9,932億円	7.6%
	データセンター	1兆1,193億円	1兆5,684億円	5.8%
	法人向けセキュリティ	6,406億円	9,145億円	6.1%
	IoT	7,100億円	3兆2,000億円	28.5%
	エネルギー	3,124億円	7,360億円	15.4%
	セキュリティ	1,562億円	7,040億円	28.5%
	自動車	710億円	6,400億円	44.3%

(出典:NRI「ITナビゲーター2017年版」)

政府主導による産業活性化

マイナンバー対応をはじめとする官公庁システムの高度化

電力・ガスシステムの改革

セキュリティ・サイバー攻撃対策

金融・郵政システムの大規模更改

世界に先駆けた5G実現、インフラシステム輸出戦略

小学校プログラミング教育必修化

ソフトウェア開発事業(通信システム)

政府主導による産業活性化

マイナンバー対応をはじめとする官公庁システムの高度化
電力・ガスシステムの改革
セキュリティ・サイバー攻撃対策
金融・郵政システムの大規模更改
世界に先駆けた5G実現、インフラシステム輸出戦略
小学校プログラミング教育必修化

国内ICT市場の動向

種別	市場・分野	2016	2022	年平均成長率
ネットワーク	固定ブロードバンド	1兆8,548億円	1兆9,300億円	0.7%
	携帯電話回線	1億5,998万件	1億7,789万件	1.8%
決済	消費者向けEコマース	16.5兆円	26.0兆円	7.9%
	スマートペイメント	62.6兆円	90.7兆円	6.4%
ウェブサービス	インターネット広告	1兆0,116億円	1兆2,725億円	3.9%
	動画配信	1,696億円	2,188億円	4.3%
ソリューション	クラウドサービス	6,398億円	9,932億円	7.6%
	データセンター	1兆1,193億円	1兆5,684億円	5.8%
	法人向けセキュリティ	6,406億円	9,145億円	6.1%
	IoT	7,100億円	3兆2,000億円	28.5%
	エネルギー	3,124億円	7,360億円	15.4%
	セキュリティ	1,562億円	7,040億円	28.5%
	自動車	710億円	6,400億円	44.3%

(出典: NRI「ITナビゲーター2017年版」)

ノード

事業環境
次世代通信、PSTNマイグレーション

当社対応
確実な動向把握、検証業務へも積極展開

モバイルネットワーク

事業環境
端末開発委託先の見直し、5G網の整備

当社対応
当社への集約化と5G開発へ向け座布団確保

ネットワークマゼット

事業環境
運用効率化、次世代通信、MVNO活性化

当社対応
積極営業を継続

ソフトウェア開発事業(オープンシステム)

政府主導による産業活性化

マイナンバー対応をはじめとする官公庁システムの高度化
 電力・ガスシステムの改革
 セキュリティ・サイバー攻撃対策
 金融・郵政システムの大規模更改

世界に先駆けた5G実現、インフラシステム輸出戦略

小学校プログラミング教育必修化

国内ICT市場の動向

種別	市場・分野	2016	2022	年平均成長率
ネットワーク	固定ブロードバンド	1兆8,548億円	1兆9,300億円	0.7%
	携帯電話回線	1億5,998万件	1億7,789万件	1.8%
決済	消費者向けEコマース	16.5兆円	26.0兆円	7.9%
	スマートペイメント	62.6兆円	90.7兆円	6.4%
ウェブサービス	インターネット広告	1兆0,116億円	1兆2,725億円	3.9%
	動画配信	1,696億円	2,188億円	4.3%
ソリューション	クラウドサービス	6,398億円	9,932億円	7.6%
	データセンター	1兆1,193億円	1兆5,684億円	5.8%
	法人向けセキュリティ	6,406億円	9,145億円	6.1%
	IoT	7,100億円	3兆2,000億円	28.5%
	エネルギー	3,124億円	7,360億円	15.4%
	セキュリティ	1,562億円	7,040億円	28.5%
	自動車	710億円	6,400億円	44.3%

(出典:NRI「ITナビゲーター2017年版」)

公共

事業環境

既存システムの更改、高度化

当社対応

より上流工程からのプロジェクト参画

流通
サービス

事業環境

Eコマース、ネットビジネス

当社対応

超高速開発、アジャイル開発、新しい開発
フレームワークへの対応

金融

事業環境

既存システムの更改、高度化

当社対応

より上流工程からのプロジェクト参画

その他

事業環境

デジタル革命 (IoT、AI、xTech等)

当社対応

新技術へのキャッチアップ、協働できる/
攻めのIT投資に貢献できる人材の育成

ソフトウェア開発事業(組み込みシステム)

政府主導による産業活性化	マイナンバー対応をはじめとする官公庁システムの高度化
	電力・ガスシステムの改革
	セキュリティ・サイバー攻撃対策
	金融・郵政システムの大規模更改
	世界に先駆けた5G実現、インフラシステム輸出戦略
	小学校プログラミング教育必修化

国内ICT市場の動向	種別	市場・分野	2016	2022	年平均成長率
	ネットワーク	固定ブロードバンド		1兆8,548億円	1兆9,300億円
携帯電話回線			1億5,998万件	1億7,789万件	1.8%
決済	消費者向けEコマース		16.5兆円	26.0兆円	7.9%
	スマートペイメント		62.6兆円	90.7兆円	6.4%
ウェブサービス	インターネット広告		1兆0,116億円	1兆2,725億円	3.9%
	動画配信		1,696億円	2,188億円	4.3%
ソリューション	クラウドサービス		6,398億円	9,932億円	7.6%
	データセンター		1兆1,193億円	1兆5,684億円	5.8%
	法人向けセキュリティ		6,406億円	9,145億円	6.1%
	IoT		7,100億円	3兆2,000億円	28.5%
	エネルギー		3,124億円	7,360億円	15.4%
	自動車		710億円	6,400億円	44.3%

(出典: NRI「ITナビゲーター2017年版」)

制御
機器

事業環境

モビリティ、IoT

当社対応

新技術へのキャッチアップ、新しい開発フレームワーク、開発プロセスへの対応



受注状況と対応方針(まとめ)



仕事量は十分 慎重に案件を取り込み

品質・納期を守り、信頼感を維持しながら
長く続くビジネスを目指す



要員組み換え



開始時期の延伸



案件辞退

2017.Q2 ソフトウェア開発受注高

事業区分	受注高	受注残高
通信システム	54.4億円 (+4.8億円)	17.0 億円 (+2.6億円)
オープンシステム	74.5億円 (+4.9億円)	30.5 億円 (+5.7億円)
組み込みシステム	7.7億円 (-1.5億円)	2.3 億円 (-1.0億円)

2017.Q2 プロダクト・サービス受注高

事業区分	受注高	受注残高
その他	2.8億円 (-3.5億円)	1.9億円 (-3.9億円)

積極
受注

プロダクト・サービスはがんばりどころ

開発リソースの確保(人材の確保と育成)

開発リソースの確保は業績目標達成のカギ

新卒採用

量の拡大

受験者数の増加、歩留まりの向上
- 求める人材に出会う・振り向かせる -

社員数と新卒採用数の推移

	2014.4	2015.4	2016.4	2017.4	2018.4 (計画)
社員数	2,541 (+14)	2,592 (+51)	2,617 (+25)	2,654 (+37)	—
新卒 採用数	82	129	113	119	(150)

**新卒採用、研修、外注費とも
ほぼ計画どおりに進捗**

人材育成

質の向上

階層別研修充実、技術WG活動活性
- 顧客と“協働”できる技術者育成 -

ビジネスパートナーの確保、関係強化

量の拡大

「プロパー主義」の方針を堅持しつつ、新規パート
ナーの開拓とパートナー管理の強化を推進

外注費の推移

決算期	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3
外注費 (百万円)	1,561 (+199)	1,830 (+269)	2,124 (+294)	2,611 (+487)	2,751 (+140)

変化への対応・将来への投資

より顧客に近いところで、技術・市場の動向を把握し、新ビジネスにつなげる活動を推進

生産性向上
効率化

独自フレームワークの構築
ツール共有、社内クラウド

新技術の獲得

OSSでのシステム試作、勉強会等による
情報共有

案件の獲得支援

協働による評価・試験

協働ビジネス構築

お客様（Sier）と共同でビジネス研究
協働の案件受注を狙う

新ビジネス創出

自社製品（単体製品・エコシステムの一
部としての製品など）創出の検討

共創と協働

- 事業部門内に、売上目標を持たない「開発推進部」等を設置
- IoT、AI、xTech、モビリティ、エッジコンピューティング等、新技術への取り組み加速
- 商談・受注案件が複数進行中

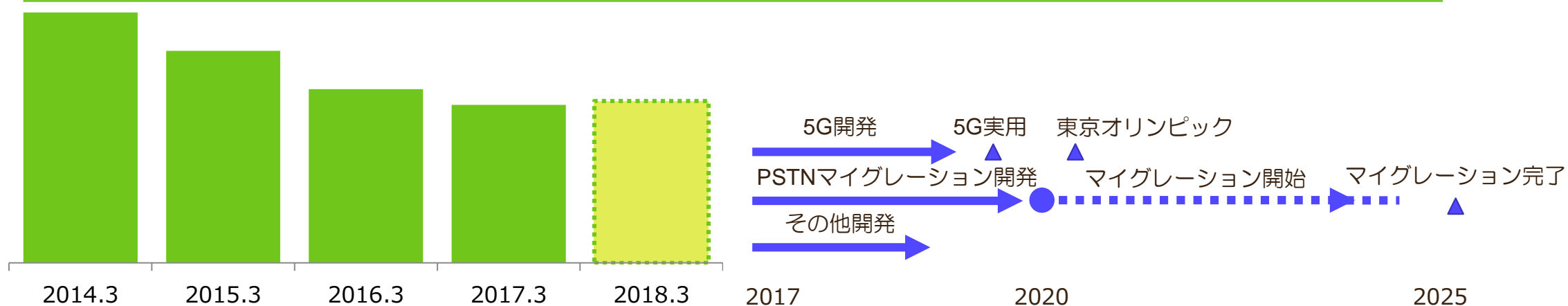


2018年3月期 通期見通し

systems

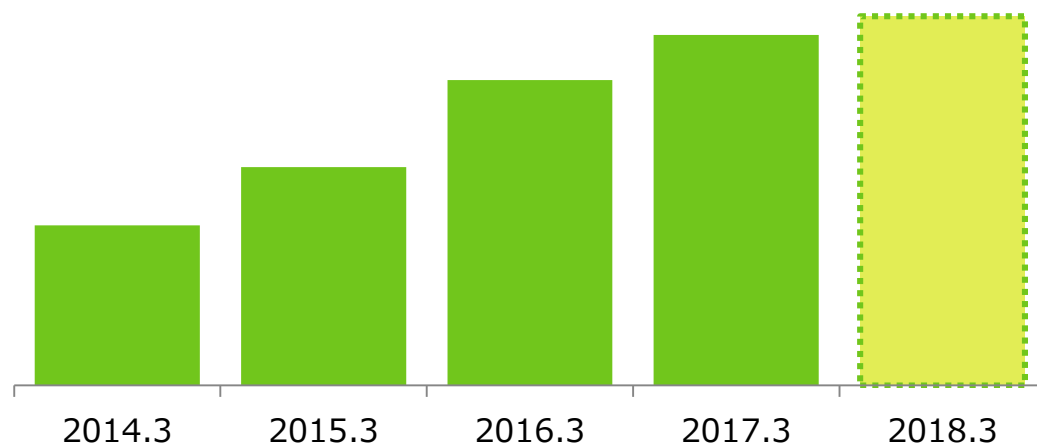
2018年3月期 見通し(通信システム)

(百万円)	2018.3	増減率	見通し
通信システム	10,400	2.4%	
ノード	2,200	5.2%	上半期業績に寄与した緊急対応案件は上半期で収束
モバイルネットワーク	2,800	▲16.4%	5G関連の動向を注視
ネットワークマネジメント	5,400	14.6%	NGN関連で増加



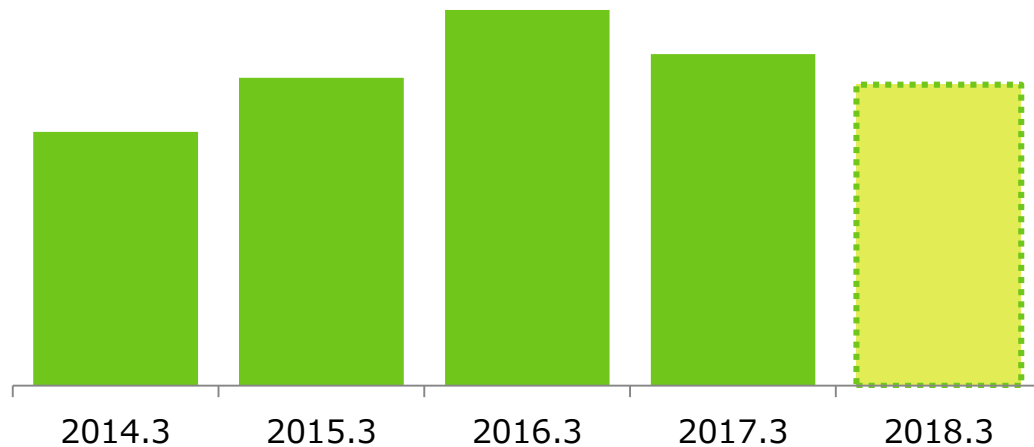
2018年3月期 見通し(オープンシステム)

(百万円)	2018.3	増減率	見通し
オープンシステム	14,600	5.4%	
公共	4,700	▲13.9%	エネルギー関連が収束傾向
流通・サービス	5,800	30.3%	Eコマース関連が増加傾向
金融	2,000	▲0.9%	決済関連中心に前期並み
その他	2,100	9.0%	



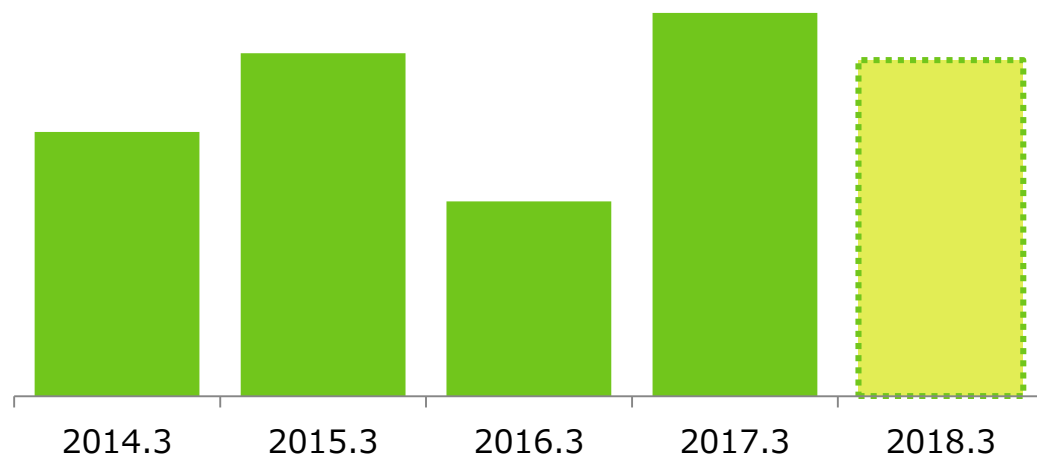
2018年3月期 見通し(組み込みシステム)

(百万円)	2018.3	増減率	見通し
組み込みシステム	1,500	▲9.3%	OA機器関連、計測・制御機器関連が引き続き減少



2018年3月期 見通し(プロダクト・サービス)

(百万円)	2018.3	増減率	見通し
プロダクト・サービス (“その他” 事業)	1,000	▲12.3%	文教ソリューションに注力 前期に複数の大型案件があった影響から、反動減 ライセンス販売の比重を上げて利益確保



2018年3月期 見通し

業績見通し

(百万円)	2016.3	2017.3	2018.3	増減額 (増減率)
売上高	25,698	26,806	27,500	694 (2.6%)
ソフトウェア 開発	25,119	25,666	26,500	834 (3.2%)
プロダクト・ サービス ("その他"事業)	579	1,140	1,000	▲140 (▲12.3%)
営業利益	2,399	2,560	2,800	240 (9.4%)

ソフトウェア開発関連事業の見通し(内訳)

(百万円)	2017.3	2018.3	増減額	増減率	構成 比率
通信システム	10,155	10,400	245	2.4%	37.8%
ノード	2,090	2,200	110	5.2%	8.0%
モバイルネットワーク	3,351	2,800	▲551	▲16.4%	10.2%
ネットワークマネジメント	4,713	5,400	687	14.6%	19.6%
オープンシステム	13,857	14,600	743	5.4%	53.1%
公共	5,461	4,700	▲761	▲13.9%	17.1%
流通・サービス	4,452	5,800	1,348	30.3%	21.9%
金融	2,017	2,000	▲17	▲0.9%	7.3%
その他	1,927	2,100	173	9.0%	7.6%
組み込みシステム	1,652	1,500	▲152	▲9.3%	5.5%

オープンシステム
事業の優位性確保

人的パワーの
拡充

マーケット・顧客動向を見据えた戦略により 持続的な成長と安定した収益基盤を構築

リスク
マネジメントの
定着

生産性の
向上

プロダクト・
サービスの
拡大



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承願います。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL(044)733-4111(代) E-mail: ir@alpha.co.jp